

内閣総理大臣 岸田 文雄 様

## 東京電力福島第一原子力発電所の トリチウム汚染水の海洋放出決定に抗議し、陸上保管を求める声明

日本政府は8月22日に関係閣僚会議を開催し、事故を起こした東京電力福島第一原発の敷地内にたまり続ける高濃度のトリチウムと60種以上の放射性核種を含む大量の汚染水(トリチウム汚染水=多核種除去設備(ALPS)処理水)の処分について、国際社会を含む関係者が反対するなか、24日にも海洋放出することを決定しました。

当会は、日本政府が起こした国策としての戦争の結果、親が広島・長崎でアメリカが投下した原子爆弾に被爆した被爆者を親に持ち、親が被爆した後に、生を授かった子ども、被爆二世の団体に構成する会です。そして、被爆二世は親である被爆者が放射線の影響に苦しむ姿を見てきましたし、自らも放射線の遺伝的影響を否定できない存在として、多くの被爆二世が過去・現在の健康被害に苦しみ、そして将来への健康不安に怯えています。

国策による福島第一原発の事故によって、多くの被ばく者が生み出され、今も「公衆の被ばく限度(年間1mSv)」を超える被ばくを強いられている人たちがいます。私たちは、原爆による核の被害者として、これ以上ヒバクシャ、放射線による被ばく者を生み出すことを容認できません。

日本政府や東京電力は、国策で進めた原発で重大事故を起こした上に、大量の汚染水を発生させた責任を果たすべきです。当会は、福島のみならず全国の、そして世界の人々に、さらなる放射能汚染と被ばくを強いるトリチウム汚染水の海洋放出に反対するとともに、日本政府及び東京電力が責任をもって陸上保管し管理することを求めます。

2023年 8月22日

全国被爆二世団体連絡協議会

会長 崎山 昇 (公印省略)

連絡先 mail : [nobo-may@asahi.email.ne.jp](mailto:nobo-may@asahi.email.ne.jp)

事務局住所 : 〒732-0052 広島市東区光町 2-8-32 エコード広島 3F